



中学生最後の運動会。「よさこいソーラン」を踊り終え笑顔の3年女子
(5月20日御船中学グラウンド)

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

通年議会スタート	2
指定管理どうするスポーツセンター	3
アンケートにご協力下さい	4
議員力を身につけろ！	5



4月定例議会

通年議会スタート

会期は354日間

町議会は22年4月から通年議会を実施している。24年度第1回目となる議会は町長が4月12日に招集し、会期を25年3月31日までの354日間と決定した。次回からの議会招集は議長が行うことになる。

行政報告

オアシスは「伸生紀」に

御船町養護老人ホーム「オアシス」の民営化に伴う移譲先である社会福祉法人の候補者が決定された。

町は、23年12月に「オアシスの移譲先選定委員会」に対し、候補者選定を諮問していたが、24年3月29日にその結果が町長へ答申された。町は、答申内容を検討した結果、答申を尊重し、移譲先候補者として「社会福祉法人伸生紀 代表者 麻生伸一氏」とした。

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬や費用弁償などの条例の一部改正

可決

地方自治法の改正による引用する条項の数値変更と条例中の別表の名称変更及び御船町指定管理者候補者選定委員を新たに加えるというもの。

主な質疑

福永議員 新たに加えられた御船町指定管理者候補者選定委員には、費用弁償は出ていたのか。

野口総務課長 その他の委員として適用し、出していた。

教育委員

同意

御船町教育委員に教育に関心のある人を町長が指名し、議会が同意した。



水越
藤本 義一氏

滝尾たんぽぽ保育園の認可

近年、保育所への3歳未満児の入所ニーズが多く、小規模保育所設置が必要であった。

地域的バランス等も考慮し、設置場所として、学校法人「玉虫学園」が妥当であると判断し、町と県は協議した結果、3月26日付で認可した。

これにより、御船町の認可保育所は、公立3園、私

立4園の7園となり子育て支援の充実に繋がっていくこととなる。



敷地内に幼稚園・保育園がある。保護者にとってもメリットが!!

農業委員会委員

推薦

農業委員会等に関する法律の規定により地域農業に精通している人を議会から以下の4人を推薦した。



高木
高村 英明氏



上野
渡邊 和子氏



辺田見
横山 雄一氏



小坂
光永 則幸氏

かわまちづくり 基盤整備は国

全員協議会で勉強

若宮公園とお祭り広場、滝川みんなの広場を中心として若宮公園からメロディ橋までの河川を回遊散策空間と位置づけ改修する。基盤整備は国の補助（4億5千万円）で行い、芝張りなどの付帯工事は町が行う。

御船地区では河川敷を散策する人も多く、お祭り広場や精霊流し等のイベントの場として日ごろから利用されている。しかし、安全面やアクセスに問題があり改善が求められていた。そのために大型車が進入する路などの整備を行うもの。

21年10月から地区代表や学校、町、河川管理者（国土交通省）が参加す

る「御船地区かわまちづくり協議会」を開き地域の協力体制が築かれてきている。

4月23日に議会と国土交通省との勉強会で「緑川総合水系環境整備事業」として対応方針が示された。



お祭り広場も改修の対象になる

指定管理どうする スポーツセンター

民生文教常任委員長 佐藤 俊明

多くの町民や町外からの利用がある町スポーツセンター。健康づくりに一役かっている。しかし毎年、運営費に1千万円以上の赤字。今後のスポーツセンターの活用方法などについて担当課から①町民の健康づくりのために民間の能力を取り入れた、「指定管理者」の導入はどうか。②その場合、利益優先の運営となれば町民が利用しづらい恐れがでないか。③温水プールは今後、改修などに多額の費用が必要となる。などの説明を受けた。

現在、「健康いきいき御船町」を掲げ、健康づくりに努めることで医

療費の削減にも取り組んでいる。その一助にスポーツセンターの活用が

ある。町民の健康づくりに役立つ活用を検討中である。



小さな頃から水に親しみ健康づくりを（スポーツセンタープール）

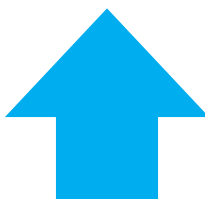
4月の議会の動き

- 1日 消防通常点検
- 4日 御船小学校落成式
- 5日 町立保育園入園式
- 9日 全員協議会・民生文教常任委員会
袴野小学校入学式
- 10日 町内小学校入学式・御船中学校入学式・広報編集常任委員会

- 12日 議会・議会改革推進特別委員会・広報編集常任委員会
- 18日 視察受入れ（高知県吾川郡議長会）・広報編集常任委員会
- 23日 全員協議会・広報編集常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 議会独自研修会
- 27日 袴野組合議会



FAX
をお願いします。



FAX番号
096-282-1476
(議会事務局)

議会広報「**あおぞら21**」の更なる充実を目指します。
アンケートに御協力下さい。

御船町議会では議会広報誌「あおぞら21」の更なる充実を図るため、アンケートを行うこととなりました。「伝わる広報紙」を目指すとともに皆さんが求める議会広報紙を把握したいと考えています。アンケートの結果は7月末発行の議会だより「あおぞら21」において公表します。ぜひ、ご協力をお願いします。

1. 議会広報誌「あおぞら」を読んでいますか

- (ア) 毎号、読んでいる (イ) たまに読んでいる
(ウ) 読まない (エ) その他 ()

2. どのコーナーが楽しみですか (いくつでも可)

- (ア) 表紙 (イ) 定例議会報告
(ウ) 一般質問 (エ) 人
(オ) 議会の動き (カ) その他 ()

3. 今後、設けて欲しいコーナーや特集等があれば御自由に記入してください

4. インターネットで一般質問の動画配信を行っていますが、見たことがありますか

- (ア) 毎回見ている (イ) たまに見ている
(ウ) 見たことはない (エ) その他 ()

インターネットによる一般質問動画配信中

住所：

氏名：

とくめい
(匿名でも受けつけます)

御協力ありがとうございました。

議会広報編集常任委員会

やっぱり議員はちがう

議員力を身につける！

4月26日に「言葉に強くなる」～新聞で磨く議員力～と題して新聞を使い相手への伝達力、説得力を身につけるための議会独自研修会を行った。

講師は、越地真一郎氏（熊本日日新聞社NIE専門委員・熊本大学客員教授・熊本学園大学招聘教授）

素人、玄人逆転の時代

現在、素人と玄人の境目が無い時代に入り、広報誌などを読む人のレベルがアップしている。情報が自由に入手でき勉強ができる世の中、誤字や意味が解らない文章などに気づく人が多くなった。発信する方より受信する方が玄人である事がたくさんあるため、認めてもらうには「こだわり」が必要となる。

講師の先生から携帯番号を質問されると「ゼロ、キュウ、ゼロ……」と答える。指摘されるまで何気なく使っている読み方に驚いた。

数字の0は「ゼロ」と読む人が多いが、アナウンサーは「れい」という。ゼロは英語読みであり日本語では「れい」である。これはプロであるアナウンサーが正しい日本語を使っているためである。プロは、細部まで自分の仕事にこだわる。

議員力とは「やっぱり議員は違う」と思われる事。それは「こだわり」がある人ということになる。と話された。

「伝える」と「伝わる」

会社が求める新規採用で重視する項目の1位は、コミュニケーション能力である。（7年連続）

「伝える」と「伝わる」は別で「伝える」は相手に「喋る」「書く」などして誰でもできるが、それが伝わるかは別問題である。

他人にも解ってもらおう気持ちを持つ。自分の中にデスク（原稿をチェックする人）を置くことが大事である。

相手に達するには2つの要素がいる。「熱い志と言葉」である。

新聞のワザを盗め！

- ①要点を掴む事をこだわる
- ②大事な事を先に書く
- ③正確に解りやすく
- ④具体的に
- ⑤事実と意見を区別。

その技を盗んで議員活動に利用してもらいたい。記事は3回読む。見出しで1回、リードで1回、本文で1回読むことになる。

これを一般質問でどう生かすか。傍聴者に見出しで明確に伝え印象づける事が大事である。「自分は傍聴者にどういう言葉を印象づけたのだろうか」という気持ちを持って発言する。「名文より明文」。名文はうまい文章であるが相手に伝えるには明文がよい。

「題字」は大事

4つのグループに別れ、新聞の記事を読んだ後、見出しを付ける作業

を行った。様々な意見が飛び交い、和やかな雰囲気の中参加者全員で見出しを考えた。

各グループの代表者が考えた見出しを発表した。

10字前後の見出しを、その記事の内容が一目でわかるように考えるのは大変難しかったがとても勉強になった。

「題字にはメッセージが込められていて、一発で相手に印象付ける事ができる。新聞は見出しを見れば書かれている内容がわかる。」と説明された。

今回の研修は、これまでのような地方自治法や国の動向などの研修ではなく、新聞を使った研修で身近で議員が主体的に取り組める内容のものであった。議員として自分たちの活動を町民にどう伝えたらいいかということや、聞き上手な議員になることをわかりやすくユーモアを交えて教えて頂いた。学んだ事を日々心がけ活動していきたい。



記事に見出しを付け発表する参加者



滝尾 玉虫
川口 重徳さん

家業の発展と生き残りかけ ステップアップ討論会開く

商工会青年部は、若手経営者または若手後継者で構成され、現在21人の部員が、地域振興のため各種行事に積極的に参加しています。

青年部員は経営者であり将来家業を担い、地域振興発展の先駆者になるようにとの思いで、昨年度より新たな青年部の事業として「ステップアップ討論会」を開始しました。

毎月1回家業の悩みや課題・将来の夢・ビジョンについて部員が発表し、その家業について討論を行っています。現状より少しでも明るい未来を迎えるために始めた事業です。

この事業を始めてからは、経営者の考え方が出てきたように思います。

議員の皆さんも、御船町・町民が現状より少しでも明るい未来を迎えられるよう、町民目線で頑張っていたいただきたいと願います。

毎年8月16日に御船川にて精霊流しを開催しています。例年ですと、その年にお亡くなりになられた方の遺族が精霊船で御魂を見送るのが風習でしたが、お盆の時期には、その年に亡くなられた方だけではなく、すべてのご先祖さまがお帰りになります。

ご先祖様、またはペットの御魂を見送るため万灯を流しませんか。

詳しくは御船町商工会までご連絡ください。
(096-282-0322)

体育大会練習

懸命な姿感動



ソーラン節の練習をする御船中学生(5月16日総練習)

「ヤーレン、ソーラン♪」おなじみの歌声が大音響で聞こえてきた。今年も御船中学校、体育大会でのハイライト「ソーラン節」の練習風景である。生徒が懸命に練習をしている。役場3階の議員控え室は特等席の見物席である。

近頃は小学生の夏休みくらいしか見ないラジオ体操も真剣に取り組んでいる。

中学校に武道である、柔道や剣道、相撲を授業に取り入れることになった。武道は、礼節・信義・克己・謙譲・大和等の精神を養ってくれる。どういう成果が出るか期待したい。

体育大会と言えば「秋」が当たり前であった。春開催は、進学のための受験対策もある。また、最近の秋は従前に比べて暑い。熱中症対策も含め、新学期早々からクラスの一致団結を促す意味合いもあるのではないかな。いずれにしても一生懸命に練習に励む姿に感動を覚えた。

議会の予定 6月

1日 人権教育推進協議会
やな開き(甲佐町)
6日 地域防災会議

7日 議会
11日 議会
29日 視察受入れ(福岡県香春町)

編集後記

新しい広報委員会となり一年が経過した。編集内容や編集方法について前委員会を引き継いでやってきたが、そろそろ新しい風を吹き込むことが必要かもしれない。

議会独自研修では熊本日日新聞社の越地NIE専門委員より講演をうけ記事の書き方や見出しの付け方について学んだ。昨年度の全国議会広報誌コンクールでは残念ながら入賞(上位20誌)は逃したが今後期待される広報誌の一つとの評価を受け広報委員会の士気は益々上がる一方である。これからも全国に誇れる議会広報誌作りをめざす。

田上 忍

議会広報編集常任委員会

発行責任者 岩田 重成
委員長 田上 忍
副委員長 山田 五郎
委員 佐藤 俊明
委員 田中 隆敏
委員 永山 和人
委員 増田 安至